

サマーキャンプ 中学生の翼 帰国報告



町の中学生海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」は国際化に対応する人材の育成を目的として、町内の中学生をアメリカに派遣するもので、今年で20回目を迎えました。

団員の皆さんは、7月25日、元気にアメリカへ向け出発し、バス・航空機を乗り継いで、出発からほぼ24時間かけて、アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町に到着しました。

到着後ホストファミリーから温かい歓迎を受け、ホームステイに入りました。ホームステイ期間中には、グレンロック町の警察署、消防署などの公共施設を訪問したほか、ニューヨーク市を見学し、ホストファミリーと楽しいひとときを過ごしました。

アメリカ現地時間の7月30日には、ホストファミリーとの別れを惜しみながら、ニューヨーク州ハンコック町のヒルトップキャンプ場にキャンプインしました。

キャンプ場では、キャンピングといわれる宿泊棟に現地の子どもたちと一緒に宿泊し、カナヌーによる川下り、スイミング、マウンテンバイク、タ

ワー（ロッククライミング）、アーチェリー、乗馬、水上スキー、ボンバーボーディング、ゴーカート、ステンドグラス作りなどの工芸、レーザータグ（サバイバルゲーム）、トラピース（空中ブランコ）など多彩な体験活動を通じて、多くのアメリカの人々と交流しました。

団員の皆さんは、日本とアメリカの文化の大きな違いに驚きと感動を覚えながら、ホストファミリーやキャンプ場の皆さんの温かさや親しみやすさを体感し、ひとまわり大きくなって日本時間の8月3日、全員元気に帰町しました。団長および団員の皆さんの感想を報告します。（敬称略）



△ヒルトップキャンプ場で